

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	血液透析導入期における栄養状態、体液量、骨格筋量と予後との関連について
研究責任者	聖隷浜松病院 腎臓内科 富田千夏
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029 年 3 月 31 日
対象者	2010 年 1 月から 2025 年 7 月まで の間に聖隷浜松病院 腎臓内科で血液透析を導入し、当院外来維持透析を行った患者さん。
研究の意義・目的	血液透析導入期の CT、生体電気インピーダンス法(BIA)による体液量・筋量評価および血液透析導入時の検査・臨床所見を用いて予後との関連を検討し、リスク層別化に役立つ予後予測モデルを構築することを目的とします。血液透析導入期は体液バランスや栄養状態が大きく変動する時期であり、ハイリスク患者を導入期に同定することで、早期に栄養指導・運動療法・リハビリテーションなどの介入を行い、予後の改善に役立てたいと考えています。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 血液透析導入時の年齢、性別、原疾患(慢性糸球体腎炎、糖尿病性腎症、腎硬化症、その他)、合併症(高血圧、糖尿病、脂質異常、高尿酸血症、心筋梗塞既往、脳梗塞既往)、身長、体重、BMI、血圧、CT・BIA を活用した体液量・骨格筋量、内服薬の種類、血液データ(TP、Alb、UA、BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、P、WBC、Hb、PLT、CRP、T-Chol、TG、LDL-C、iPTH、WBC、Hb、PLT、BS、HbA1c、グリコアルブミン、HANP、BNP、血ガス(PH、HCO ₃ ⁻ 、CO ₂)、心エコー(EF、弁膜症有無)など。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎臓内科 (氏名)富田千夏 TEL:053-474-2222(代表) 腎臓内科外来 9:00～17:00 平日